

ツチノナカの記憶

どんなにどんなに
満ちても満ちても
わずかにわずかに
欠けていく欠けていく
なんどもなんども
絶やしても絶やしても
ひそかにひそかに
生まれている思い

ふたつとない存在を
探しあてる感覚を
沈んだままの情景を
思い出せる瞬間を

僕は知っている
僕は知っている
僕は知っている
僕は知っている
あなたに溶ける喜びを

七色のせせらぎを
四足が渡っていく
あふれ出す言葉が
雨粒を降らせる
騒いでいた音たちが
ぬけがらに逃げ込め
一瞬で消えていく
遺された匂い

しまいこんだ情熱を
解き放つ法則を
不確実な衝迫を
動かせる暗号を

僕は知っている
僕は知っている
僕は知っている
僕は知っている
あなたに溶ける幸福を